

にいがた

# 畜産協会たより

公益社団法人

新潟県畜産協会

新潟市西区山田2310-15  
全農にいがた第2ビル内  
TEL.025-234-6781～6783



表紙：5月26日開催 全国闘牛サミット

## 目次

- ◆ 全国闘牛サミット in 長岡大会 …………… (2)  
記念闘牛大会レポート
- ◆ 令和5年度畜産経営診断指導 …………… (3)  
(畜産コンサル) 実施結果
- ◆ 肉用子牛に関する情報提供について …… (4)
- ◆ 新潟県畜産協会定時総会報告 …………… (5)
- ◆ にいがた和牛推進協議会総会報告 …… (5)
- ◆ 国際養鶏養豚総合展2024 (IPPS) …………… (6)  
参加レポート
- ◆ 高千家畜市場結果報告 …………… (8)
- ◆ ちくさん女子の窓 …………… (8)
- ◆ 編集後記 …………… (8)

# 全国闘牛サミット in 長岡大会記念 闘牛大会レポート

当協会も含めた全国の畜産会組織は家畜とのふれあい、畜産及び畜産物の普及啓発を図ることを目的として馬事畜産振興協議会を運営しています。協議会では全国各地で行われている家畜に係わる伝統行事等の開催・保存等を支援するために、地方競馬全国協会の補助を受けて「家畜に係わる伝統行事等保存推進事業」を実施しており、当県でも国の重要無形民俗文化財に指定されている「牛の角突き」について山古志闘牛会および小千谷闘牛振興協議会の2団体が事業に参加しています。



令和6年5月26日、この2団体を含む闘牛文化を有する6県9市町が闘牛の伝承と地域交流を目的に長岡市で全国闘牛サミットを開催し、その記念大会が山古志闘牛場で開催されました。サミットの開催は27回目で全国が順番に実施しており、山古志での開催は10年ぶりとなります。

また、今年は2004年10月に発生した中越大震災から20年の節目の年にあたります。当地山古志も大きな被害を受けた地域です。記念大会の開会に先立ち、参加者らが亡くなった方々への黙とうを捧げました。

今回は地元小千谷・山古志の牛の他に、今大会のために沖縄や岩手などから5頭の牛が出場し、合わせて26頭13組の取り組みが行われました。



新潟県の牛の角突きは引き分けが特徴です。がっしりと組み合せて力比べをする2頭の間に頃合いを見て勢子が割って入り、まだ勝負を続けたい牛の注意をうまくそらせて引き離す…。「見事な引き分けです」のアナウンスがされるたび、会場には拍手が巻き起こりました。

山古志・小千谷の闘牛は11月まで毎月開催されています。会場には駐車場が併設されているほか、開催日にはそれぞれ長岡駅、小千谷市内からシャトルバスも運行されています。興味をお持ちの方はぜひ一度、闘牛場に足を運んでみてはいかがでしょうか？

(公社) 中央畜産会からのお知らせ

畜産映像情報

畜産現場の“今”を30分の番組にしました！  
映像を各種研修会、セミナーにご活用ください！

配信中の内容：総集編 若き情熱！全国和牛能力共進会 特別区／畜産DX特集 総集編 養鶏・養豚の今に迫る／コントラクターと連携 大分県高田牧場／他



◀スマートフォンからはこちら  
▼パソコンからはこちらで検索

がんばる畜産



(公社) 中央畜産会 経営支援部 (情報) TEL03-6206-0846



# 令和5年度畜産経営診断指導(畜産コンサル)実施結果

令和5年度の畜産経営診断指導（酪農経営9戸、肉用牛繁殖経営3戸、肉用牛肥育経営2戸、養豚経営5戸）の技術及び経営成績を県指標値と比較し、改善方策等を整理しましたので紹介します。なお、詳細は当協会ホームページに掲載しておりますので、併せてご覧ください。

## 【酪農経営】

配合飼料および粗飼料価格の高騰により、平均乳飼比が64.6%と昨年（62.3%）からやや上昇しました。経産牛1頭当り乳量は平均9,379kgと昨年（9,024kg）から約4%向上したにも関わらず、所得率は平均6.3%と昨年（7.7%）に比べて1.4%低下しています。

日々一定量を給餌しなければならない粗飼料の価格高騰による経営への負荷は、自身の飼料費を賄えるほどの乳量を出していない牛、つまり泌乳後期の牛の割合が牛群に多いほど影響が大きくなります。そのため、自給飼料の積極的な増産や飼料品目の見直しといった直接的な経費低減の工夫に加えて、発情観察の強化や定期的な繁殖検診の実施などにより繁殖成績向上へ取り組むことが重要です。

区 分	単位	5年度	指標値
乳 飼 比	%	64.6	50以内
経産牛1頭当り産乳量	kg	9,379	9,500以上
経産牛平均分娩間隔	ヶ月	14.9	14以内
経産牛平均種付回数	回	2.4	2以内

## 【肉用牛繁殖経営】

受胎に要する種付回数1.8回（指標値1.5回）と指標値よりやや多く、平均分娩間隔も14.2ヶ月（同12ヶ月）と指標値から増加している傾向が見られ、観察強化による適期授精や母牛の飼養管理等に注意が必要です。

一方、子牛事故率は11.2%と指標値の3%を大幅に上回ったことから、引き続き子牛の異常の早期発見・早期対処に努めるとともに、虚弱な子牛とならないよう母牛の分娩前後の飼養管理対策等が重要です。

区 分	単位	5年度	指標値
平均産歴	産	4.1	7以上
平均分娩間隔	ヶ月	14.2	12以内
受胎に要する種付回数	回	1.8	1.5以内
子牛事故率	%	11.2	3以下

## 【肉用牛肥育経営】

枝肉重量、枝肉格付4等級以上率で指標値を達成しており、肥育技術の向上が見られる結果となりました。一方で出荷月齢は指標値を上回る結果となっており、コスト低減を図るためにも増体量の向上を図る等、早期出荷の検討が重要です。

区 分	単位	5年度	指標値
出 荷 月 齢	ヶ月	29.6	28以内
1日当り増体量	kg	0.88	0.85以上
枝肉格付4等級以上率	%	95.3	80以上
枝 肉 重 量	kg	536	490以上

※すべて去勢牛の成績

## 【養豚経営】

離乳から受胎平均日数の改善が遅れており、この影響で分娩間隔も長期化しています。離乳後の発情再起の遅れが主な要因であることから、授乳期母豚の栄養管理などの飼養管理徹底、母豚更新の判断を的確に実施するなど基本的事項の徹底を図る必要があります。

また、肉豚平均事故率が依然として高く、母豚1頭当り肉豚出荷頭数減少の要因となっていることから、換気・水洗・消毒の強化など豚舎の衛生状況改善及びワクチンプログラムの見直し、離乳時の発育遅れを防ぐために授乳中の栄養管理を見直すことが重要です。

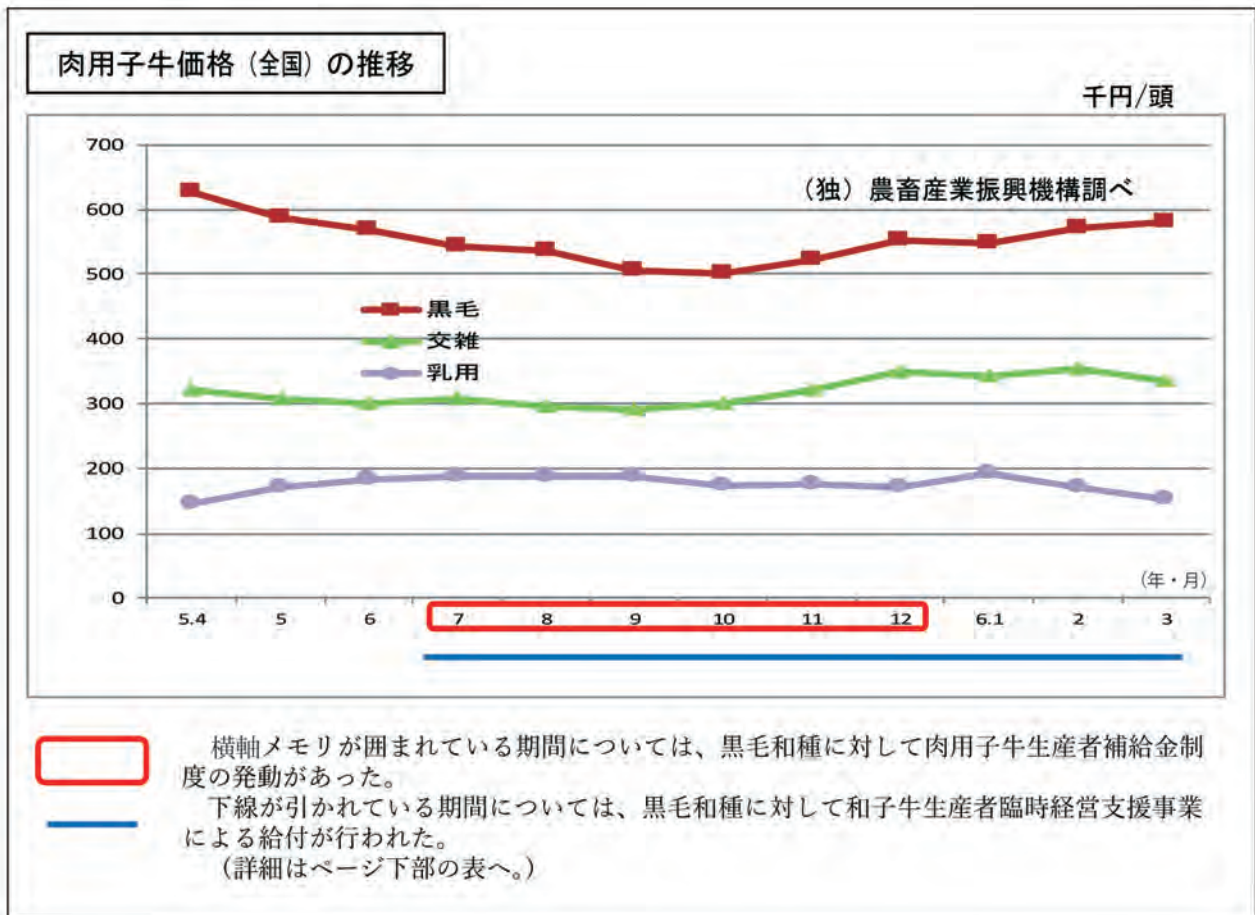
区 分	単位	5年度	指標値
離乳から受胎平均日数	日	15.7	12以内
分 娩 間 隔	日	153.8	150以内
肉 豚 平 均 事 故 率	%	8.0	5以下
母豚1頭当り肉豚出荷頭数	頭	22.7	22.8以上

# 肉用子牛に関する情報提供について

畜産物の価格変動により生ずる畜産経営体の損失を補填する事業として、当協会では肉用子牛生産者補給金制度の適切な実施に携わっています。

肉用子牛生産者補給金制度は、肉用子牛の価格が一定の基準よりも低落した状況に対応するためのセーフティネットとして位置づけられています。

この度は、肉用子牛価格が低調に推移している情勢に伴い、次のとおり情報提供しますのでご活用ください。



- 飼料・資材高騰等で今後の経営に不安を持つ肥育農家の需要低迷から子牛価格が低下しているものと思われ、特に黒毛和種ではこの動きが顕著になっています。
- こうした中、肉用子牛生産者補給金制度とは別個に一層手厚い対応をとる形で、臨時的に和子牛生産者を補助する和子牛生産者臨時経営支援事業が独立行政法人農畜産業振興機構により立ち上げられ、当協会は事業実施主体となりました。
- これらの制度（事業）における直近一年間の本県での発動状況は、次のとおりになります。

## 【肉用子牛生産者補給金制度・和子牛生産者臨時経営支援事業 発動状況】 (年/月)

制度（事業）名	5/4~5/6	5/7~5/9	5/10~5/12	6/1~6/3	合計
肉用子牛生産者補給金制度	-	7,499,200	8,408,500	-	15,907,700
和子牛生産者臨時経営支援事業	-	2,689,600	3,247,200	1,166,000	7,102,800

# 令和6年度定時総会報告

令和6年度定時総会を令和6年6月17日に新潟市西区の全国農業協同組合連合会新潟県本部ビルで開催しました。内容は以下のとおりです。

## 1 議事の経過

### 出席会員数

正会員47名中、本人出席17名、書面出席30名の全員出席により、令和6年度定時総会が成立しました。

## 2 会長挨拶

## 3 新潟県農林水産部窪田部長祝辞

## 4 議事録署名人の選任（2名）

- ・新潟県農業信用基金協会  
専務理事 小幡 浩之 氏
- ・一般社団法人  
新潟県配合飼料価格安定基金協会  
常務理事 河野 昭信 氏

## 5 提出議案

- 第1号議案 令和5年度事業報告及び収支決算報告について
- 第2号議案 役員改選について
- 第3号議案 令和6年度会費について
- 第4号議案 役員の報酬等及び費用に関する規程の一部改正について
- 第5号議案 役員報酬の決定について  
附帯決議

## ● 結果の概要

提出5議案と附帯決議は出席者全員と書面による賛成で原案どおり成立し、報告事項も全員の了解を得ました。なお、総会終了後に開催した理事会で会長、副会長（2名）、専務理事を互選しました。



伊藤会長挨拶



祝辞を述べる  
窪田新潟県農林水産部長

# 役員紹介

## ○ 理事12名、監事3名

役名	氏名	備考
会長	伊藤 能徳	再任
代表理事副会長	高野 洋	新任
業務執行理事副会長	井畑 明彦	再任
専務理事	瀬高 寛治	再任
理事	仲山 美樹子	再任
理事	島本 春幸	再任
理事	尾田 修一	再任
理事	藤田 毅	再任
理事	佐藤 博	再任
理事	加藤 弘	新任
理事	齋藤 松郎	再任
理事	羽深 真一	再任
監事	永井 充	再任
監事	野口 剛	再任
監事	菊地 壮平	再任

## にいがた和牛推進協議会総会報告

にいがた和牛推進協議会（会長 花角英世知事）は、5月29日に新潟市西区の全国農業協同組合連合会新潟県本部ビルにおいて総会を開催し、委任状を含め全会員が出席しました。

鈴木勝也副会長（株式会社三国取締役会長）が議長を務め、提出された収支決算、収支予算等4議案はすべて原案どおり承認されました。また、副会長1名の補欠選任があり、高野 洋 氏（全国農業協同組合連合会新潟県本部長）が選任されました。

このほか、昨年度開催した20周年記念行事の報告もあり、閉会では、高野副会長が、にいがた和牛の銘柄確立及び本県の肉用牛生産の振興のため、関係者一丸となって取り組んでいくとの挨拶を行いました。



総会の様子

# 国際養鶏養豚総合展 (IPPS) 2024レポート

4月24日～26日まで、愛知県名古屋市の「ポートメッセなごや」にて、「広げよう畜産の未来－養鶏・養豚産業の未来を動かす三日間」をテーマに、世界の最先端の養鶏・養豚関連の施設や機械等を一堂に集結した「国際養鶏養豚総合展 (IPPS) 2024」が開催されました。

1992年に第1回が開催され、これまでは任意団体 IPPS 運営協議会が主催で開催してきましたが、今回の記念すべき第10回目は公益社団法人中央畜産会の主催となったことで、当協会からも職員が参加し様々な特別講演やセミナーを受講してきました。

最近の養鶏・養豚業界にとっての最大の課題は、鳥インフルエンザや豚熱など悪性伝染病の予防であり、農場段階での飼養衛生管理基準の徹底的な防疫対策が求められています。また、ウクライナをはじめとした世界情勢や記録的な円安などにより、飼料や生産資材の高騰等コストの上昇を引き起こしています。

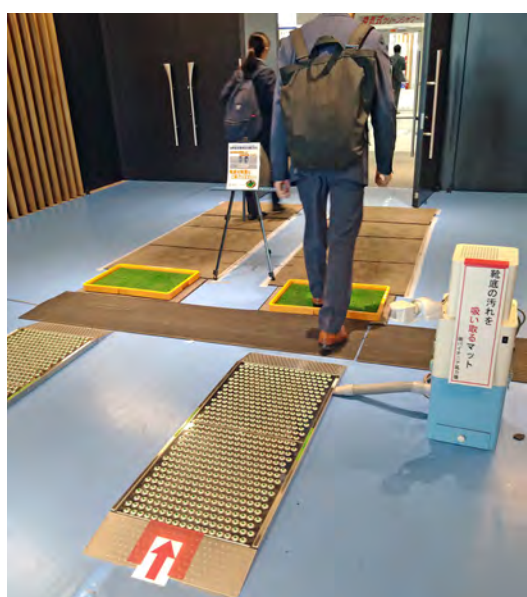
一方、これからの時代は、地球環境問題を解決するため、SDGs や DX への対応が求められています。出展した各施設・機械メーカーは、養鶏・養豚産業の更なる発展に貢献するべく、これらの課題に真正面から取り組んでおられました。



開場時に行列ができるほど人気



展示ブースの一例



靴底の汚れを吸い取って消毒



畜舎清掃ロボット

会場には多くの新潟県内の養豚生産者が訪れており、実際に機械・施設に触れたり、メーカーの話を聞いたり、セミナー聴講で最新技術を確認するなど、自身の経営にプラスとなる情報収集に努めていました。



会場で情報収集する新潟県内の養豚生産者



メーカーの話を聞く新潟県内の養豚生産者

てから導入する必要があると感じました。一方、疑問に思う機械、技術等もたくさんあるので、吟味する眼力も必要と感じました。

今回学んだ新潟県内でも役立つような技術や施設・機械等については、養豚のみならず、各畜種にも共通する内容が多くありますので、今後、畜産コンサルや現地巡回等の際に経営者の皆様に紹介していきたいと思います。

最後になりますが、畜産会組織の中で東海ブロックと近畿ブロックが出展しており、各地域の銘柄豚の試食やPR活動を行っていました。次回の2027年には北陸ブロック（新潟・富山・石川・福井）も何かしらの形で出展することを模索していきたいと思っています。



東海ブロック・近畿ブロックが出展

今回の総合展では、施設・機械展示や実演等により、雪国新潟でも活用可能かなどを検討することができました。

また、技術セミナーや各種資材のセミナー、ネズミ対策セミナーなど多くの学びがあり、とても有意義であったと感じています。

全体的な感想としては、これからの時代はIoT/ICT化が重要ということが再認識できましたが、費用対効果を十分に検証し



近畿ブロックの焼豚試食

## 高千家畜市場結果報告

令和6年7月2日、佐渡市の高千家畜市場で和牛競り市が開催され、上場子牛95頭（去勢52頭、雌43頭）のうち計90頭が競り落とされました。

今回の最高値は税込み716,100円で、市場平均価格は440,709円と前回（令和6年4月2日）開催時に比べて53,287円安、昨年同時期（令和5年7月2日）に比べて90,118円安となりました。

JA佐渡営農振興課の寺田畜産次長はセリ価格が上がりなかった要因として、円安に起因する飼料高と物価高による消費低迷のため、枝肉在庫過多となり価格が低迷しており、購入意欲が低下していること、県内の肥育農家の牛舎の空きが少ない状況であったことを挙げ、このような情勢下でもJA佐渡ではCBS産子の増体管理強化を続けるとともに、管内農場への指導対応を整え、発育の良い牛が揃った市場開催への取り組みを続けていくと総括しました。



## ちくさん女子の窓

酪農経営：神田 麻子(阿賀野市)

牛にも個性があります。

人懐っこい子、臆病な子、元気いっぱいな子。

うちの子達も色々な性格の子がいます。

2月に生まれた「まつげ」ちゃん。

その名の通り、まつげが可愛い女の子です。

人が大好きで、牛舎に行くと「構ってー！

触ってー！」と言いたげにずっとこっちを見えています。

とっても食いしん坊で、お腹が空くと「モーモー」（お腹空いたよ！早くご飯ちょーだい！）と鳴いています。笑笑

赤ちゃんを生むまで2年、お山に行く子もいますが、殆どの子が牛舎で育ちます。

この子達が快適に過ごせるようにお世話していきたいです。



## 編集後記

業務効率化のために簡単なプログラミングをするのがひそかな楽しみです。以前は簡単な作業を自動化するのもあれこれ調べ、自分の腕前と相談して実装するのがやっとでしたが、ChatGPTが公開されて効率がぐんとあがりました。やりたいことを実現するための機能があるかすぐにわかるので調べる時間が省けます。

空いた時間で次のやりたいことを実装できるので、かなりの事務や集計作業を減らしました。次はもう少し大きなプログラムを作ってみようか、楽しみです。（編集担当：真保）

